

『小児・AYA世代がんサバイバー 長期フォローアップ メソッド』 企画案

【基本方針】

1. 小児がん治療率の向上でサバイバー人口が増加し、一般内科医、小児科医、他職種(看護師、薬剤師、歯科医等)でも、日常診療の一貫として小児がんサバイバーに対応する場面が増えている。口
2. 小児がんサバイバーの診療では、臓器、機能、二次性腫瘍、支援、サバイバーシップへの配慮が必要であり、またサバイバーの原疾患、治療時年齢、治療内容、フォローアップ時年齢によって異なる注意が必要となる。
3. 本書は、一般内科医、小児科医、他職種を対象として、(具体的な事例を通して、)実践的な長期フォローアップの入門書役割をめざす。

【読者対象】

一般内科医、小児科医、他職種(看護師、薬剤師、歯科医等)、がんサバイバー自身・家族、LCAS受講者

【書籍体裁】

A5判・225ページ or B5判・179ページ、2色刷

【項目・分量・執筆者一覧】

頁数	項目	A5判		B5判		執筆内容、執筆上の御注意など	御執筆者 (敬称略)	御所属
		頁数	文字数	頁数	文字数			
-	序文	1	900	1	1000	-	松本公一先生	成育小児がんセンター
-	執筆者一覧	2	-	2	-	-	-	-
-	目次	4	-	4	-	-	-	-
	総論	5		5			清谷知賀子先生	
	治療の長期的影響							
	化学療法・免疫療法の長期的影響	5		5			大園秀一先生	
	外科治療後の長期的影響						田尻達郎先生	京都府立医大小児外科
	放射線治療の長期的影響	5		5			副島俊典先生	神戸陽子線/兵庫こども
	造血細胞移植と移植後フォローアップ	5		5			森有紀先生	虎ノ門病院血液内科/移植後長期FU
-	第I部 医療者の視点	1	-	1	-	【本書における各項目共通の内容】 1. 晚期合併症に関して 「リスク因子」 「検査法」 「コンサルト・治療介入タイミング」 2. 各成長成熟段階における診療のポイント(身体的変化・社会的変化への対応含む) 「小児期から思春期前」 「思春期～成人早期」(20代前半ぐらいまで) 「成人期」(20代後半以後)	-	-
	1. 内分泌代謝	5	4500	5		内分泌代謝障害、ガイドライン紹介	岡田賢先生	広島大学小児科/内分泌代謝
	2. 心臓血管	5	4500	5		心臓障害、腫瘍循環器、ガイドライン紹介	清谷知賀子先生	成育小児がんセンター
	3. 腎臓						亀井宏一先生	成育腎臓科
	1. 生殖機能	5	4500	5		妊孕性、温存治療、妊婦出産、早発閉経、不妊、ガイドライン紹介	鈴木直先生	聖マリ産婦人科
	2. 運動機能	5	4500	5		運動機能評価、筋骨格系・義肢義足・サルコペニア・ガイドライン紹介	岩田慎太郎先生	国立がん研究センター中央病院
	3. 耳鼻科	5	4500	5		耳鼻科フォローアップ、特殊教育含む	守本倫子先生	成育耳鼻科
	4. 眼科	5	4500	5		眼科フォローアップ、特殊教育含む	仁科幸子先生	成育眼科
	5. 歯科	5	4500	5		歯科合併症・フォローアップ・介入のタイミング	金沢英恵先生	成育歯科
	6. 二次性腫瘍・遺伝性腫瘍	5	4500	5		リスク因子・スクリーニング/FU・遺伝相談、ガイドライン紹介	加藤元博先生	東大小児科
-	第II部 支援の視点	1	-	1	-	【本書における各項目共通の内容】 各分野の専門家の実践的な解説	-	-
	1. 看護師の視点	5	4500	5			橋本久美子先生	聖路加サバイバーシップセンター
	2. 薬剤師の視点	5	4500	5			日置三紀先生	滋賀医大薬学部
	3. 心理士の視点	5	4500	5			佐藤聡美先生	聖路加看護大学院
	4. 小児がんリハビリテーションの視点	5	4500	5			上出香里先生	成育リハビリテーション科
	5. 栄養士の視点	5	4500	5			栄養士:	(園がん?)
	6. SWの視点	5	4500	5		院内・院外連携、福祉制度・医療費、就労支援	ソーシャルワーカー:	(園際?)
	7. 大学病院での診療科連携長期による長期フォローアップ						日高もえ先生	東京大学小児科
	8. 病院間連携による長期フォローアップ						康勝好先生	埼玉小児医療センター血液・腫瘍科
	9. 開業医間連携による長期フォローアップ						寺田和樹先生	小児科
	10. 長期FUデータと未来のフォローアップ						加藤美穂先生	成育小児がんセンター
-	第IV部 事例 (必ず、複数診療科や多職種を含むチームを構成してもらう。LCAS同様(に退院時と長期FU時の2時点を設定))	1	-	1	-	-	-	-
	A. 悪性リンパ腫	5	4500	5			牛藤義宏先生チーム(小児科+α)	成育小児がんセンター
	B. 小児白血病	5	4500	5			康勝好先生チーム(小児科+α)	埼玉小児医療センター
	C.(思春期～若年成人)白血病	5	4500	5			多田雄真先生チーム(血液内科+AYA支援)	大阪国際がん血液内科
	D.非腫瘍性疾患の造血細胞移植	5	4500	5			井口晶裕先生チーム(外科+移植後フォロー)	成育小児がんセンター
	E. ランゲルハンス細胞組織球症(LCH)	5	4500	5			塩田曜子先生チーム(小児科+α)	成育小児がんセンター
	F. 神経芽腫	5	4500	5			山田悠司先生チーム(小児科+外科+α)	成育小児がんセンター
	G. 横紋筋肉腫	5	4500	5			宮地充先生チーム	京都府立医大小児科
	H.ユーイング肉腫	5	4500	5			岩田慎太郎先生先生チーム(整形+小児科+リハ+α)	国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍科
	I.骨肉腫	5	4500	5			中山ロバート先生チーム(整形+腫瘍内科+リハ+AYA支援+α)	慶応大学整形外科
	J.肝芽腫	5	4500	5			森麻希子先生チーム(小児科+外科+耳鼻科+α)	埼玉小児医療センター小児腫瘍科
	K.腎芽腫	5	4500	5			大橋孝治先生チーム(外科+小児科+腎臓科+α)	兵庫医大小児外科
	L.網膜芽細胞腫	5	4500	5			秋山政晴先生チーム(眼科+小児科+遺伝科+α)	慈恵医大小児科
	M.乳がん	5	4500	5			清水千佳子先生チーム(腫瘍内科+α)	国立国際医療センター乳癌腫瘍科
	O.胚細胞腫瘍	5	4500	5			狩野元宏先生チーム(外科+小児科+α)	慶応小児外科
	P. 髄芽腫	5	4500	5			山崎雅雄先生チーム(脳神経外科+小児科+心理+α)	大阪市立総合小児腫瘍科
	Q.中枢神経胚細胞腫瘍	5	4500	5			磯部清孝先生チーム(小児科+脳神経外科+内分泌科+α)	国立がん研究センター中央病院小児科
	R.低悪性度グリオーマ	5	4500	5			福岡諒平先生チーム(脳神経外科+小児科+α)	埼玉小児医療センター小児科
-	索引	4	-	4	-	-	-	-
-	奥付	1	-	1	-	-	-	-